



ようやく現場社員の声の実現へ！ 冷感マスクなど熱中症対策実施！

申24号団体交渉において今夏における熱中症とコロナウイルス対策について、労使共通の課題として社員の健康と安全を守るために万全な体制をとることを確認しました。交渉後様々な改善・対策が実現しています。

乗務員室背面にお客さま向け周知ステッカー貼り付け始まる

社員が業務で列車乗務中に水分補給をすることや、マスクを取り外す場合があることについてお客さまに周知させるステッカーを乗務員室背面に掲出することを交渉で確認しました。7月16日付で通達が出され新潟車両センター、新津運輸区において順次ステッカーを貼り付ける作業が行われ、全編成に行われます。

冷感マスクの配布が系統問わず多くの職場で実施

職場独自で購入して配布していた冷感マスクの効果を全体化することで、社員個人に購入させるだけで済ませることがないよう取り組んできました。7月下旬から営業職場・運輸職場など、これまで未配付であった複数の職場においても冷感マスクの配布が行われました。

今年の夏は熱中症予防対策に加えて、新型コロナウイルス感染防止対策にも取り組んでいく必要があります。冷感マスクについては職場によって社員自身が購入するように言われていた職場においても交渉を通じて配布が行われました。

今後も東日本ユニオンは社員の命と健康を守るために、労働組合の力で働きやすい労働環境の実現を目指します！



更なる労働環境向上に向けて東日本ユニオンに結集しよう！